

支援プログラム（居宅訪問型児童発達支援）

作成年月日： 2024年10月1日

事業所名		児童発達支援センターらいむの丘		
事業所の所在地		三重県桑名市星川 2 2 3 9 番地 1		
法人（事業所）理念		「待ちをつくらない」の考え方で、努力を惜しまない。また、「出来ません」ではなく、「出来るようにする」には どうするかを考えます。		
支援方針		お子さんの育ちを支援しながら、保護者様に寄り添い、発達の気になるお子さんと保護者様、ご家族が「地域で生き生きと暮らしていける」よう児童発達支援センターの機能を最大限に活用し、育ちをサポートする療育に取り組み、楽しく・安心・安全に過ごせる場所を提供します。		
営業時間		8：40～17：00 （センターが指定する休業日・土曜日・日曜日 祝祭日・年末年始除く）	送迎実施の有無	なし ※ご自宅へ訪問支援員がお伺いさせていただきます
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・ 本人や保護者から健康状態を確認します。 ・ あそびと休息のバランスが取れるスケジュールを本人や保護者と相談し、考えていきます。 ・ あそびについては、当日の本人の体調に配慮しながら、時間や内容を調整します。		
	運動・感覚	・ 興味や関心のあるあそびから行うことで、自分から動こうとする力を引き出しやすくします。 ・ 姿勢保持や運動機能の向上に繋がるような身体の動きを促進するようなあそびを提供します。 ・ 様々な楽器に触れたり、音楽を奏でることで、感性を育みます。 ・ 感覚遊びとして、見る・聞く・触る・匂う・味わう等により、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚などの感覚を育みます。		
	認知・行動	・ あそびの目標をスモールステップで設定し、本人や保護者にできたことがわかりやすくなるようにします。 ・ 色や形の異なる物や素材の違う物等に触れることで、色や形の変化や違いに気づいていけるあそびを行います。		
	言語 コミュニケーション	・ 伝えたいことを表せるように、本児の表現の仕方を把握し、相手に伝わる伝え方を一緒に考え（しぐさ、絵カードなど）、取り組んでいきます。 ・ 本児の動作とことばが結びつくように、動作に簡単なことばを添えて伝えます。 ・ 相手への伝え方を、大人が見本を見せて、どういう言い方が伝わりやすいかを一緒に行っていきます。		
	人間関係 社会性	・ 保護者以外の大人と一緒にあそぶことで、人との関わりを広げていけるよう支援します。 ・ 相手に自分の伝えたいことを伝えるにはどのような方法が適しているかを一緒に考え、できることから行えるよう支援します。		
家族支援		・ 保護者様の困りごとや悩み事については、話を伺い一緒に考えていきます。 ・ 療育の内容やご家庭での様子を観察・確認し、保護者様がお子さんのことをより理解できるように日々考え、必要に応じて懇談や情報提供を行います。		
移行支援		・ 就園・就学に向けた関係機関との情報共有をします。 ・ 就園に向け、保育所（法人運営）との交流をします。		
地域支援・地域連携		・ 医療・福祉等の関係機関との連携や情報共有をします。 ・ 各関係機関との会議に参加します。		
職員の質の向上		○人権研修…月 1 回 ○職員研修…年 2 回 ○虐待防止研修…年 1 回 ○ケース検討会…年 4 回 ○関係する外部研修会の参加		
外部		○隣接市町への言語相談・講座・巡回相談 ○介護予防事業の実施 ○施設訪問支援（依頼を受けた市内外保育所や小学校等へ出向き、困りのあるお子さんの接し方等の職員の支援を実施）		
研修会の実施		○教員向け研修会…年 2 回 ○保護者研修会…年 3 回 ○保育士研修会…年 3 回 ○放課後等デイサービス・児童発達支援事業所向け研修会…年 3 回 ○私立保育園連盟研修会…年 4 回		
児童発達支援支援センターらいむの丘の主な行事等		○園外療育：年 2 回（春・秋） ○交流保育：同敷地内にある保育所（法人運営）へ行き、就園に向けて集団の中で過ごす経験していきます。 ○季節の活動：こいのぼり制作、七夕飾りの制作、水遊び・プール、クリスマス会等 ○避難訓練…月 1 回（火事や地震等を想定）		